平成 26 年度　第 4 回幹事会議事録　要約

開催日時：平成 26 年 7 月 19 日(土)　16 時 00 分～18 時 30 分
開催場所：梅田サテライトキャンパス
成立要件：出席者 25 名（委任状 4 名含む)、欠席者 1 名（※定足数 20 名以上）

１．報告事項

（１）小泉会長：7 月 5 日（土）に中国支部総会に出席して、大変有意義な時間を過ごした。

（２）総務部：7 月 14 日（月）に部会を開催した。既に了承を得ている改革検討委員会の在り方について検討を行い、総務部内に次の２つのワーキンググループ（WG）を組織する。①財務検討WGは吉岡副部長を長として、宮本事務局長、福井会計長の 3 名で組織し、校友会財務の「中・長期的な推移」、「事業の見直し」等の提言について検討する。②会則・規約検討WGは有田副部長を長として、高見部長、吉田幹事の 3 名で組織し、従来の「改革検討委員会」で検討してきた事項について検討する。

（３）運営事業部会：本日、運営事業部会を開催し、校友会グッズについて検討したが、継続となり 9 月には決定したい。また、大学祭の校友会テントについて提案があり、部会で検討の予定である。

（４）広報事業部会：7 月 5 日（土）に部会と、ＨＰの講習会を開催した。

（５）事務局：奈良県在住の交機Ⅱ部（S50 年卒）会員よりメールで次の問い合わせがあった。①同窓会を開きたいが、呼びかけることは可能か　②ホームカミングデーとはどのようなものか　③奈良県支部が開かれないのは、何か問題があるのか。これらの問い合わせについて、協議事項で検討することになった。

（６）支部総会（中国支部・兵庫県東支部・大阪市支部）：支部総会の資料が回覧された。

（７）その他

元代議員のチョン氏より、現在、母国に帰っており代議員の活動が出来ないので、代わりに韓国支部日本在住のキム・ヨンイル氏の代議員への推薦があった。現時点では、既に代議員の選出が終了しているため、代議員の希望者が多くなった場合は、再募集の告示をすることになった。

２．協議事項

（１）会長就任の所信について

凡友と校友会ＨＰに掲載する会長就任の所信（5 項目）について説明がなされ、承認された。

１．学園・大学と校友会との協力体制の強化と連携
２．「大学開学 50 周年記念事業」への協力と「校友会設立 45 周年事業」の実施
３．校友会財務基盤の「中・長期的分析ならびに校友会事業」の再検討

４．校友会ホームページを活用した校友会活動の積極的な広報活動
５．校友会組織の見直し（主に代議員定数、代議員定数の都道府県別配分数）

（２）その他

１）総務部より、総務部の「財務検討ＷＧ」では財務の検討を行うため、会計長の福井副会長に総務部に入っていただきたい。また、「財務検討ＷＧ」、「会則・規約検討ＷＧ」では重要案件を検討するため、必要に応じて総務部会に梅原副会長と森本副会長に出席していただきたい旨の提案がなされ、承認された。

２）事務局の報告にあった奈良県支部会員からの個人情報提供依頼について、ホームカミングデー開催日に同窓会を行うのであれば協力は出来る。このことを本人と話して確認をしてから決定する旨の提案がなされ、了承された。

３．審議事項

（１）不有の館の協賛金について

7 月 10 日現在の会員からの協賛金額について、次の報告がなされた。

校友会	87 件	578,022 円
産高同窓会	120 件	355,670 円
桐蔭校同窓会	8 件	198,750 円
合計	215 件	1,132,442 円

校友会としての協賛金について、産大附属高校は今年度予算化しており、60 万円、桐蔭高校は 20 万円程度の予定であり、校友会としては卒業生の人数相応（校友会は約 8 万 5 千人、産高は約 4 万 4 千人、桐蔭高は 1 万 2 千人の会員数）に、協賛金 100 万円を醵出したい旨の提案がなされた。

この提案について、個人的な財産に校友会から協賛金を醵出することには賛成しがたいとの意見もあったが、この件は先の第３回幹事会で承認を得ているとこ、また、第３回幹事会後に、産大付属高等学校同窓会、桐蔭高等学校同窓会、校友会との三者で各会から協賛金を醵出することが協議され、合意されていることが説明され、審議、採決の結果、校友会から 100 万円を賛助金として醵出することが承認された。

（２）その他

特になし

以上